SONY

4-108-825-**01**(1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

SRS-GU10iP

Made for iPod iPhone

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2010 Sony Corporation Printed in China

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

付属の AC パワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100 ～ 240 V）につないでお使いください。

AC パワーコードについて：

AC パワーコードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持ってコンセントから抜いてください。

留守にするときは：

本体の ⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタンを OFF にしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに AC パワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
  —直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  —窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  —風呂場など、湿気の多い所。
  —ほこりの多い所、砂地の上。
  —時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1 年に 1 度は、AC パワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

⬇

❶ 電源を切る
❷ AC パワーアダプターを抜く
❸ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　ぬれ手禁止

⚠危険 下記の注意事項を守らないと
火災・感電・発熱・発火により
死亡や**大けが**の原因となります。

火災　感電

指定以外の AC パワーアダプターを使わない

必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと
火災・感電により**大けが**の原因となります。

火災　感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

指定以外の機器に使わない

火災やけがの原因となります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

禁止

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと
けがをしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機のリモコンでは以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単 4 形アルカリ、単 4 形マンガン

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

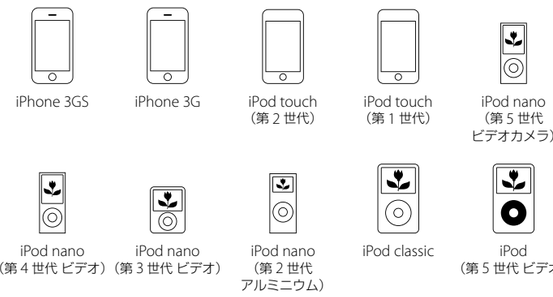
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

iPod & iPhone 対応モデル

本機には下記の iPod & iPhone が対応しています。ご使用の前に、お使いの iPod & iPhone を最新のソフトウェアにアップデートしてください。特別な場合を除き、この取扱説明書では iPod および iPhone の総称として「iPod」と記載しています。



* 2010 年 4 月現在

ご注意

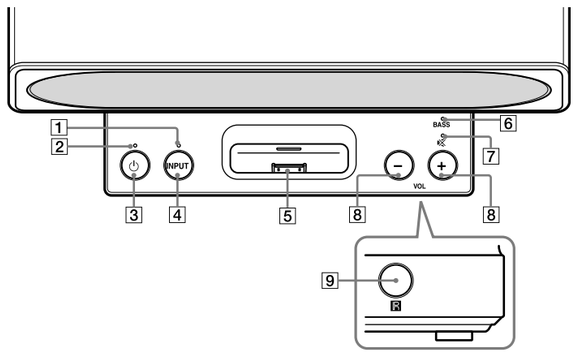
- 対応以外の iPod を本機に接続しないでください。本機で対応していない iPod を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している iPod でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。
- iPhone 3G および iPhone 3GS は単独の通信業者のサービスでのみお使いいただけるよう設定されている場合があります。

商標

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、各々 iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
  アップルは、本製品の機能、安全、および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

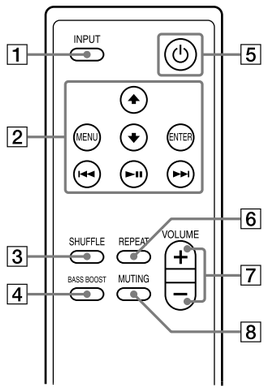
各部のなまえ

本体



1 INPUT ランプ
2 ⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプ
3 ⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタン
4 INPUT（入力切換）ボタン
5 Dock コネクタ
6 BASS BOOST ランプ
7 MUTING ランプ
8 VOLUME（音量）+/– ボタン
9 リモコン受光部

リモコン



お買い上げ時の設定に下線を引いています。

1 INPUT（音楽入力）ボタン
入力源を切り換えます。
iPod ⟷ AUDIO IN（INPUT ランプが点灯します。）

2 ⬆/⬇* ボタン
メニューや再生する曲を選択します。
⏮ ⏭*（頭出し）ボタン
押したままにすると、早送り / 早戻りができます。短く押すと、再生中の曲の頭出し / 次の曲の頭出しができます。

MENU* ボタン
iPod のメニューボタン相当の動作をします。

ENTER* ボタン
選択したメニューの決定または再生を行います。
⏯ ボタン *
短く押すと、再生 / 一時停止します。長く押すと、iPod の電源が切れます。

3 SHUFFUL ボタン
（曲 → アルバム → オフ）

4 BASS BOOST ボタン
低音を増強します。
ON ⟷ OFF
（BASS BOOST ランプが点灯します。）

5 ⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタン
電源を ON / スタンバイします。
（⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点灯します。）

6 REPEAT ボタン
繰り返しトラックを再生します。
（1 曲 → すべて → オフ）

7 VOLUME +/– ボタン **
音量を調節します。（32 段階）
（音量の調節中は ⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点滅します。音量が最大と最小のときに MUTING ランプが点滅します。）

8 MUTING ボタン
音が出なくなります。
ON ⟷ OFF
（MUTING ランプが点灯します。）

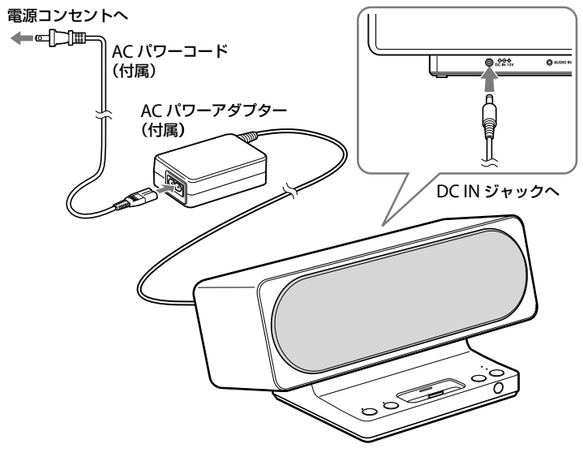
* ボタンの操作に関しては iPod のユーザーズガイドをご覧ください。
** リモコンの VOLUME+ ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

ご注意

- 接続された iPod によっては操作が異なる場合があります。
- 本機に接続されているときであっても iPhone で着信音量が設定されている場合は、本機が鳴る場合がありますので、iPhone 本体で、着信音量を調整してください。
- iPhone が本機に接続された状態で再生中に着信した場合、再生は一時停止され、電話に出ることができます。
- iPod が本機に接続されている時、iPod 側で音量（iPhone の着信音量以外）を調整することができません。
- iPod の電源を入れるとき、「ブップッ」という音が鳴る場合があります。
  iPod と本機の電源を入れてから、iPod を本機に取り付けてください。
- 音量設定によっては、突然大きな音が出ることがあります。

電源について

付属の AC パワーアダプターを本機に接続します。



ご注意

- AC パワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ･JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属の AC パワーコードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

極性統一形プラグ

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

海外で使うときは

付属の AC パワーアダプターは、AC100 ～ 240 V、50/60 Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

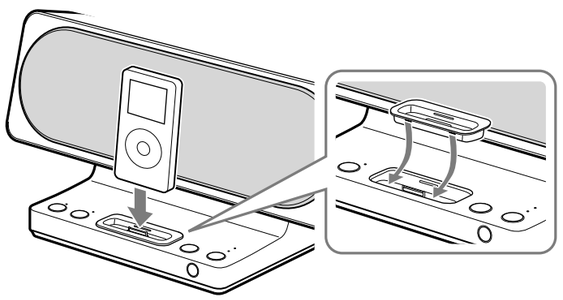
変換プラグアダプター（別売り）

ご注意

海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

iPod を接続する

ご使用前に、お使いの iPod を最新のソフトウェアにアップデートしてください。



1 お手持ちの iPod に合う Dock アダプタを選ぶ。
お使いの iPod または本機に付属の Dock アダプタをご使用ください。

2 Dock アダプタを本体に取り付ける。

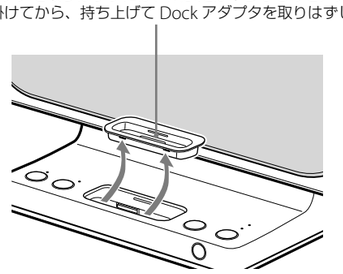
3 iPod を Dock コネクタに接続する。
Dock コネクタの角度に添って差し込んでください。

本体を充電器として使用する
AC パワーコードをコンセントに差し込み、iPod を本体の Dock コネクタに取り付けます。iPod の充電が始まります。充電の状態は iPod の画面に表示されます。
詳しくは、お使いの iPod に付属 の取扱説明書をご覧ください。⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタンを押して本体の電源を切る場合、接続されている iPod の画面表示も消えますが、iPod はその状態でロックはされないため、iPod に保存された情報が他人に見られる場合があります。

ご注意

iPod を取りはずす時は、Dock コネクタの角度に沿って抜いてください。

Dock アダプタを取りはずすには、爪または平らなものをアダプタの溝に引っ掛けてから、持ち上げて Dock アダプタを取りはずします。



iPod の音楽を聞く

1 本体の ⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。
⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 本体のスピーカーの音量を最小にする。
VOLUME －ボタンを押し続けます。最小になると MUTING ランプが点滅します。

3 INPUT（入力切換）ボタンを押して、iPod に切り換える。
INPUT ランプが消灯します。

4 曲を選択し、音楽を再生する。
再生、停止や他の操作はリモコンまたは iPod 本体で行ってください。
本機との接続中に iPod 本体を操作するときは、iPod をもう一方の手でしっかり支えてください。

5 音量を調節する。
本体の VOLUME ＋ボタンで調節します。

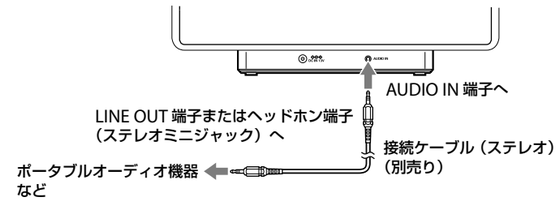
ご注意

本体の BASS BOOST 機能は初期設定が ON になっています。お好みで、付属のリモコンを操作して OFF にしてご使用ください。

ヒント
iPod の機種によってはヘッドホン接続の両方を同時に使用することはできません。

その他の機器と接続する

対応 iPod 以外の外部機器も、本機に接続して音楽を聞けます。接続ケーブル（別売り）を、本体の AUDIO IN 端子と外部機器に接続します。



1 本体の ⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。
⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 本体のスピーカーの音量を最小にする。
VOLUME －ボタンを押し続けます。最小になると MUTING ランプが点滅します。

3 INPUT（入力切換）ボタンを押して、AUDIO IN に切り換える。
INPUT ランプが点灯します。

4 曲を選択し、音楽を再生する。

5 音量を調節する。
接続した機器を適切な音量にし、本体の VOLUME ＋ボタンで調節します。

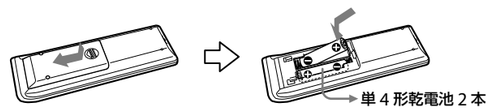
ご注意

- 突然大きな音が出て耳を痛めないように、外部機器の音量を下げてから本体につないでください。
- ラジオまたはワンセグチューナーを内蔵した機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。

ヒント
リモコン操作で BASS BOOST、⏻（電源 ON / スタンバイ）ボタン、VOLUME +/– や MUTING ボタンが使えます。

リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる
単 4 形乾電池を挿入してください。



乾電池を交換時期について
マンガン電池使用時に、ふつうの使いかたをした場合、約 6 ヶ月もちます。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、2 本とも新しい電池と交換してください。
付属の単 4 形乾電池はお試し用ですので、使用可能時間が短い場合があります。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因	処置
音が小さい、または音が出ない	音量が最小になっている。	音量を上げる。
	接続ケーブルが端子にしっかりと接続されていない。	一度取りはずして、接続し直す。
	iPod で音楽が再生されていない。	再生を開始する。
	MUTING が ON になっている。（MUTING ランプが点灯している。）	リモコンの MUTING ボタンを押して、MUTING を解除する。
	入力が接続機器に切り替わっていない。	INPUT ボタンを押して、入力を切り換える。
	外部機器の音量が小さい。	外部機器の音量を上げる。
リモコンで本機、または iPod を操作できない	スピーカー本体から離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
	リモコン受光部の前に障がい物が置いてある。	リモコン受光部の前から障がい物を取り除く。
	iPod がしっかり接続されていない。	一度取りはずして、接続し直す。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
	リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
	入力が iPod になっていない。	INPUT ボタンを押して、入力を iPod に切り換える。
ブーンという音がでる、またはノイズが出る	テレビなど近くに音がでる機器を置いている。	音を発しているものから、本機を離す。
		AC パワーコードを別のコンセントに接続し直す。
音がひずむ	音量が大きい。	音量を下げる。
	接続機器のバスブースト機能やイコライザ機能が有効になっている。	機能を解除する。 iPod のイコライザ機能の場合は、「オフ」または「フラット」に設定する。
	外部機器の音量が大きい。	外部機器の音量を下げる。
リモコンに電池が入らない（きつい）	電池を逆に挿入しようとしている。	極性（+/–）を確認して正しく入れる。
⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点滅する	音量を上げたときやリモコンを受信したときに ⏻（電源 ON / スタンバイ）ランプが点滅しますが、故障ではありません。	

ご注意

AUDIO IN にラジオを接続した場合、ラジオ放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。

全てのランプが点滅した場合、AC パワーアダプターをコンセントから抜き、再度接続してください。それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

スピーカー部

形式	フルレンジバスレフ型、防磁型（JEITA*）
使用スピーカー	直径 57 mm
インピーダンス	8 Ω

アンプ部

実用最大出力	10 W + 10 W（全高調波歪 10 %、1 kHz、8 Ω）（JEITA*）
入出力	Dock コネクタ × 1
入力	ステレオミニジャック × 1

電源部・その他

電源	DC 13 V（付属の AC パワーアダプターを接続して AC100 ～ 240 V 電源から使用）
最大外形寸法	約 320 × 154 × 194 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約 2.1 kg
付属品	AC パワーアダプター（1） AC パワーコード（1） リモコン（1） 単 4 形乾電池（マンガン）（お試し用）（2） iPhone 3G および iPhone 3GS 用 Dock アダプタ（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

その他の必要なもの

iPod（別売り）

* JEITA は「電子情報技術産業協会」の略称です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品カスタマー登録のおすすめ

製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、カスタマー登録をおすすめしております。
詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/avp-regi/